



会報

SHINSHIYOU

## 神私幼

平成23年12月1日

第178号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：(社)神奈川県私立幼稚園連合会  
 発行人：会長 渡邊 眞一  
 編集人：神私幼総務部(広報室)  
 発行：年4回(6月・9月・12月・3月)  
 発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F  
 TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



社団法人神奈川県私立幼稚園連合会



## 第27回 関東地区教員研修 神奈川大会

大会  
テーマ

広く、深く、ていねいに  
保育の質を考える

～心が響きあう幼稚園教育を～

開催日：平成24年8月2日(木)・3日(金)

会場：パシフィコ横浜 他

## INDEX

### 2/3 会長挨拶 公益法人を目ざします

●神奈川県私立幼稚園連合会 会長 渡邊 眞一

第25回関東地区代表者協議会 栃木大会報告

揺れる保育環境、今こそ問われる幼児教育の真価

●副会長 鈴木 伸司

### 4/5

研究部報告

第27回関東地区教員研修大会 神奈川大会

広く、深く、ていねいに保育の質を考える

～心が響きあう幼稚園教育を～ ●研究部長 亀ヶ谷 忠宏

新規採用教員研修会についての報告 ●研究部次長 高 方子

第27回 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長研修大会 ●副会長 今井 恵子  
 地区協会の研究活動(社団法人 横浜市幼稚園協会)

### 6

平成23年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会報告

「自己肯定感を育む」大丈夫!の言葉かけ

●神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 副会長 山田 智加子

### 7

神奈川県私立幼稚園教育振興連盟 ●振興連盟会長 長瀬 潔

就職相談会報告 ●経営管理部長 山本 安雄

教育相談室から「がんばってね!」はいりません ●教育相談員 鈴木 敦子

### 8

Pride of KANAGAWA

研修会報告

# 公益法人を 目指します

会長挨拶



県連協会 会長

渡邊 眞一

平成二十五年十一月三十日まで現社団法人は、特例民法法人として存続できます。県連では平成十八年度に「公益法人制度改革対策検討委員会」（以下、検討会という）を設置し、今日まで法人化に道筋をつけるべく検討を進めてきました。その結果、「公益社団法人」を目ざすことを平成二十三年十月の理事会において決定させていただきました。公益法人に移行するためには次の条件をクリアしなければなりません。その条件とは次の通りです。

**公益社団法人に移行するには**

「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」第五条に規定する認定基準を満たし、同法第六条に規定する欠格事項に該当しないことが条件となっています。具体的には：

- ①公益目的事業を行うことを主たる目的としていること。
- ②公益目的事業比率が、五〇％以上であること。
- ③公益目的事業に必要な経理的基礎と技術的能力があること。
- ④遊休財産額が一定額を超えない見込みであること。

そこで当検討会では一般社団法人と公益社団法人のメリット、デメリットを検討しつつ、右記の認定基準を視野に入れながら委員会としての意見をまとめ、公益社団を目ざすことが県内唯一の幼稚園団体の使命であり、かつ私立幼稚園の永続性と責任が果たせると意見が一つにまとまりました。公益法人を目ざす理由は以下の通りです。

- 1 県内唯一の私立幼稚園団体として、幼児教育の公共性を訴えたこと。（今後一般社団の認可は簡単となり、未加盟の私立幼稚園が社団法人を作ろうと思えばすぐに出来てしまう。）
- 2 当初の公益認定の難しさが随分緩和されていること。（外部理事が三分の一入らなければならないといわれてきたが、現在の運営体制や理事構成で問題がないことが判明してきた。）
- 3 行政からの監督は行われるが、いわゆる税務調査からは免れることになるまで、監督が続くといわれる。公益社団は報告義務が生じるが、充分対応できると思われる。）
- 4 収益事業の収益を公益事業に充てる事により、実質非課税となり、財務的余裕が増すこと。（公益事業と収益事業の区分経理により、将来的に会費収入は押さえることができると思込まれる。）
- 5 公益事業が支出の五〇％を超えることが、充分可能であること。（新たに公益事業を始めることなく、現在の事業を公益認定申請することとなる。事業負担は増加しないと思われる。）
- 6 横浜協会・川崎協会も公益社団を目ざしていること。（理事・監事の兼務も問題なし。同協会からの県連会費の納入も公益支出となる。相模原協会是一般社団の方向なので、理事人数の問題だけとなる。）
- 7 全日私幼連幼児教育研究機構も公益法人を目ざしていること。

当連合会からも、渡邊会長以下十名の役員が出席しました。

二日間の協議会は研修Ⅰ～Ⅳに分けて実施され、**研修Ⅰ**は栃木県出身、父親から虐待を受け養護施設で育ち、元暴走族という異色の経歴の持ち主でありながら現在は（株）創栄グループ代表取締役兼育成トレーナーとして、精力的に活躍している加藤秀視氏による「だから自分をあきらめるな！」のテーマでの講演でした。企業の人材育成にとどまらず、非行少年達の更生を支援し多くの青少年を救ってきた加藤氏からの「今の社会は欠点や悪い所ばかりを見ている、もっと自分を好きになり自分に夢を持つ」との熱のこもつ

（宝くじ協会からの助成金が大幅に減額されない限り、収支はマイナスにならないとのこと。またその努力を続ける方向であること。）

- 8 他の県連組織も公益社団法人を目ざしていること。（四十七都道府県のそれぞれの方向性はまだ判明していないが、社団・財団・任意団体があり、加盟園の多い県連は公益社団を目ざすと思われる。）
- 9 県からの財政的支援をお願いする時の受け皿になれること。（現在の補助金は決して多くはないが、公益社団となれば行政は支出しやすくなると思われる。）
- 10 ここ数年は公益社団への移行を視野に会計処理を進めてきたこと。（事業報告と会計報告は毎年必要となるが、現在の事務局体制が維持され会計事務所を活用すれば問題なしと思われる。）

以上のまとめを受け平成二十三年十月の理事会において県連は公益法人を目ざすこととなり、今後事務手続きの準備を進めつつ、来年の三月または五月の総会にてご承認いただけるよう更なる努力を重ねてまいりたいと考えております。現在は（仮称）公益社団法人 神奈川県私立幼稚園連合会 定款（案）の検討を一条文ずつ細部にわたって検討しているところです。総会の議を得たあと認定の準備に入り、平成二十四年十月頃に申請書等を神奈川県公益認定等審査会に提出し、認定結果を待ちたいと思います。

いずれにしても平成二十五年十二月

## 第27回関東地区教員研修神奈川大会があります

八年振りの開催です。期日は平成二十四年八月二日（木）・三日（金）の二日間です。大会テーマは「**広く、深く、ていねいに保育の質を考える**」そしてサブテーマに「心が響きあう幼児教育を」と、当県連の研究テーマを添えての大会です。フォーラム数は二十三・二十五を予定し、現在、各部が中心となり準備を進めています。神奈川大会は規模の大きな大会となりますが、関東地区七県の先生方を温かくお迎えしたい!!と思います。

なお会場は、一日目はパシフィコ横浜国立大ホール、二日目はフォーラム、パシフィコ横浜会議センター及びアネックスホール他です。大会開催日を平成二十四年度の園行事日程に必ず入れていただき、全園の参加をお願いしたいと考えます。



副会長 鈴木伸司

たメッセージには参加者の心を打つものがありました。

**研修Ⅱ**は「幼児教育の今後」と題した、幼稚園と小学校との接続に関する無藤隆氏の講演でした。子ども子育て新システムの検討委員でもある無藤先生からは、これからの新システムに関しては財源問題も含め委員の議論より政治的課題だとの話がありました。

**研修Ⅲ**は各県行政官による「私立幼稚園の現状と課題」とのテーマに沿ったの行政報告でした。各県の私学助成金、認定こども園の状況、幼保一体化に関する考え方が伝えられました。震災の被害が大きかった県においては、

一日からは新制度（新しい公益法人スタイル）になります。限られた時間のなかで県連もリニューアルを目ざしてがんばりますので、設置者・園長先生のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 県連の組織見直しを進めています

公益法人制度改革と平行して「県連新法人組織について」現在、総務を中心に作業を進めています。組織の見直しのコンセプトは「各協会をベースとして成り立つ現在の組織を引き継ぎ、役員の選出方法についても現在の方法を大きく変えないこと」を基本として会議構成を①議決機関に総会と理事会②執行機関に、正副会長、協会長、運営委員会（現在の常務理事会・理事機能をあわせたい）に改組し、合わせて理事、監事の選考についても新しい提案をすべく準備を進めているところです。

又、今回は部の構成についても検討を加えています。諸先輩の知恵で構成された五つの部（総務・振興・研究・経管・財務）の見直しです。新法人移行後の県連の会務がスムーズに動くことを願っていることです。具体的な新組織についてはただ今、つめの段階にありますので、紙面にてお伝えできませんが、長い県連の歴史から考えますとこの作業も大きな改革の一つとなります。なお今回、先輩の財産である「研究室」を復活し、研究の神奈川ここにありと、研究活動の在り方についても検討します。



幼稚園の復興支援にも予算が割かれていたようでした。

最後に**研修Ⅳ**として、元NHKモスクワ支局長の小林和夫氏からチェルノブイリ原発事故当時の裏話も交えた講演があり、密度の濃い二日間の協議会を終了しました。

他県の代表者の方々と席を同じくすることで、情報交換がより深まり、加えて各県の私幼に対する姿勢（温度差）も伺えたことは、必ずや今後の振興策に役立つものと感じました。

第25回

## 関東地区代表者協議会栃木大会報告 揺れる保育環境、今こそ問われる幼児教育の真価



平成二十三年十一月九日・十日、栃木県宇都宮市において第二十五回関東地区代表者協議会が開催されました。

この協議会は例年関東地区会八県の持ち回りで開催され、全日本私立幼稚園連合会関東地区会・神奈川地区会の幼稚園代表者と各県の私学行政担当者、幼稚園の今後の振興対策等について研究協議するものです。



平成23年度神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会報告

「自己肯定感を育む」大丈夫！の言葉かけ

平成23年11月9日  
パシフィコ横浜  
メインホール



神奈川県私立幼稚園父母の会連合会  
副会長 山田智加子

秋晴れの中、本年度の研修大会を迎えました。会場となったパシフィコ横浜には、例年と変わらず県内全域より数多くの会員の皆さまにお集まり頂き、大盛況の中で開会式が始まりました。最初に主催者により、今の子ども達



を取り巻く厳しい環境の中、家庭・幼稚園・地域社会が連携して子ども達を育て見守る環境作りの大切さを訴えかける力強い挨拶に続き、

ご来賓の神奈川県副知事・黒川雅夫様、神奈川県議会議長・持田文男様、神奈川県議員・寺崎雄介様、赤井かずのり様、竹内英明様に御挨拶を頂きました。子ども達の成長には私達親だけでなく、就園奨励費や私立幼稚園経常費など神奈川県に於ける様々なご支援とご協力を頂いているのだと改めて認識し、感謝すると共に心強く感じました。

開会式が終了し「五体不満足」の著者で小学校教諭を経験され、現在二児の父親である本日講師・乙武洋匡先生をお迎えして講演の始まりです。乙武先生は立ち見の方がいるのに驚かれながら、現在の日常生活・家族や子育て・小学校での生



徒との楽しいエピソード等をお話くださいました。今の自分があるのは両親をはじめ先生や近所の大人、周囲の人に恵まれていたのだと感謝し「今度は自分の番かな」という次に引き継ぐ恩送りの気持ちで教師になった経緯をお話くださいました。そして今の子ども達は自分で考えられない子どもが多いのに驚き、これは周囲の大人が原因であると気付いたそうです。褒める事より批判するほうが多いので、自然に子どもは「大人に言われた事だけをしていれば褒められる」「言われた事だけしていれば良い」と判断してしま



うからだそうです。そこで教師として「自己肯定感を育む」のを大事にし、「大丈夫」という言葉をたくさん子ども達にかけたそう

です。子育てや教育において細かい事ばかり言う、大人の顔色を伺って窮屈に育ち「大丈夫」というストライクゾーンを広げる事で自分に自信を持ち、安心してのびのび育つのではないかと思つたそうです。子ども達は、私達大人が思っている以上に不安に思っているのかも知れません。口うるさく注意するだけでなく、親子の間でも「大切に思っているよ」「愛している」「宝物だよ」と積極的に言葉にして伝える事の大切さを知りました。



「自己肯定感を育む」と言う言葉は大変印象に残りました。自己肯定感を育むために「大丈夫」とたくさん言つてあげられるように「広い」「ゆつたり」とした気持ちで、これから子ども達に接していけたらと思ひました。

神奈川県私立幼稚園教育振興連盟

皆様に役立つ振興連盟

私立幼稚園をとりまく環境が大きな変化をしている時です。問題を次にあげてみました。

- ①「子ども・子育て新システム」をはじめとして保育制度改革が進行しております。（平成二十五年度の施行を目指しています）
- ②日本は少子高齢化社会を迎えており、二〇二五年には高齢化のピークが来ます。六十五歳以上の人口比率が三〇％を超える一方、労働人口は減少



振興連盟会長  
長瀬 潔

- の一途をたどります。
- ③為替の円高により国外に企業が移転をすることから人も移動し、国内の人口の減少がおこり、幼児人口はますます少なくなる傾向が続くと思われま
- ④神奈川県は経常費補助金は日本全国で最下位にあります。黒岩新知事をお願いし、より良い方向の対策が出来るかと思ひます。

十年先の展望が予測しがたいと思ひます。振興連盟は情報を逐次皆様に伝えていきますので、各自で判断しハドルを切つて下さい。これからも、皆様に役立つ振興連盟にしたいと思ひます。ご協力とご支援をお願い致します。



教育相談室から「がんばってね！」はいりません



教育相談員 鈴木 敦子先生  
東京大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士  
教育学修士・臨床発達心理士  
桐朋学園大学、千葉大学、日本女子大学  
東京都市大学、関東学院大学にて非常勤講師  
早稲田、東戸山、西富山幼稚園にて保育アドバイザー

夕方近所の中学生に出会いました。入学した学校でソフトボールを始めたとか。「球技なんか全然興味なかったのに」とお母さんが驚いていました。ちよつと立ち話をした後、つい「がんばってね」と言つてしまいました。言っている途中から「あつ、バカ」な自分に嫌気がさしてきました。本人がやりたくてやっているのに何をこれ以上がんばれというのでしょうか。とにかく他人が叱咤激励することではありません。日本は努力を尊ぶ国です。成果はともかく努力を怠ることは厳禁です。ただ、努力をしようにも出来ない状況や、努力していないように見える努力の仕方もあります。何にでも「がんばれ、がんばれ」は本人を追い込むだけではありません。昔見た映画に、嫁ぐ娘の母親が婚家に対して「（できの悪い娘なので）いつまで嫁がつとりますか」と言うシーンがありました。本心は不明ですが、このくらいの心持ちは素敵です。少なくとも子どもにがんばらせたいのは大人なのです。未熟なのでこの自覚がなかなかできません。

相談の申し込み  
電話にて(社)神奈川県私立幼稚園連合会  
事務局へ申し込みください。  
TEL 045-440-3210

就職相談会報告

会員意識の向上に繋がる第二步



経営管理部長  
山本 安雄

一年前の経管部の忘年会、参加者五名の寂しい寂しい忘年会。例によって、ここ数年の幼稚園教諭希望者の減少に関する愚痴で終始したのですが、学生対象に「就職相談会」のようなものが出来ないだろうか、参加者の意見が一致しました。それから約半年、アンケート調査や、各協会の資料作り等々、暗中模索ながら、「初めてだから失敗して当然」と言う気楽さで八月三十日の当日にこぎ着けました。

開催趣旨の第一は「幼稚園教諭という職業に希望を持つてもらう」ことと具体的な就職活動のやり方の説明でした。その結果参加した学生数一六一名、学校数二十三校でした。それが、すぐに求人増に結びつくことは無いとは思いますが、数的にはまずまずの成果で、今後この事業が継続的に行われて、学生にとっては参加して当たり前になることを夢見ています。

一方、このように組織で行う事業は、事業そのものの成果もさることながら、事業を準備・運営する過程でいわゆる「苦労を共にする」事が会員意識の向上にも繋がるのだと思ひます。もちろん細かな事では反省すべき点も多々ありましたが、取りあえず一歩踏み出した事でご容赦願ひます。ご尽力いただいた経営部員、各協会の担当者、そして無給でワークショップを行っていただいた先生方に深く感謝致します。



## ●平成23年度神奈川県私立学校教育功労者表彰

神奈川県私立学校教育功労者表彰要項に基づく平成23年度教育功労者表彰の受賞者が決定し、平成23年11月29日(火)、神奈川県庁新庁舎において表彰式が行われました。今年度の受賞者は、右記の通りです。おめでとうございます。



(学)まるやま学園  
かおり幼稚園  
丸山 征 先生  
(園 長)



(学)健爽学園  
健爽学園 ゆりかご幼稚園  
荒井 利夫 先生  
(理事長・園長)



(学)心宝学園  
谷口幼稚園  
澁谷 武男 先生  
(理事長・園長)

Pride of  
KANAGAWA



教育功労者表彰は、私立学校教育の振興を図るため、知事所轄の私立学校の教職員、校長園長、理事長及び設置者等として、他の模範となる特に顕著な功績をあげた者を表彰することを目的としています。校長園長、理事長及び設置者等においては、私立学校の充実、振興のために献身的に尽力し、その功績が特に顕著であり、神奈川県内での私学歴が25年以上の方を対象としています。

## ●平成23年度神奈川県交通安全優良学校等表彰

神奈川県交通安全功労者表彰要綱に基づき平成23年度神奈川県交通安全優良学校が、(学)八木学園 洲野辺ひばり幼稚園に決定し、平成23年11月24日(木)、神奈川県総合医療会館において表彰式が行われました。おめでとうございます。



(学)八木学園  
洲野辺ひばり幼稚園  
八木 肇 先生  
(理事長・園長)



神奈川県における交通の安全と事故の防止に貢献した個人及び団体で、その功績が顕著な者を表彰し、交通安全を確保することを目的としています。表彰の対象は、地域団体、職域団体等で多年にわたり交通安全推進のための広報及び安全教育又は街頭指導活動を積極的に行い、交通の安全と事故の防止に顕著な成績をあげた団体を表彰の対象としています。

## ●秋の叙勲受賞

平成23年11月3日付けで発表され、(学)宮ヶ谷学園 かもめ幼稚園 渡辺 明理事長兼園長が瑞宝双光章を(学)なかい学園 毛利台幼稚園 安藤 博文園長が瑞宝単光章をそれぞれ受章されました。おめでとうございます。叙勲は、国家又は公共のために功労のあった方を対象に発令されます。



瑞宝  
双光章

(学)宮ヶ谷学園  
かもめ幼稚園  
渡辺 明 先生  
(理事長・園長)



瑞宝  
単光章

(学)なかい学園  
毛利台幼稚園  
安藤 博文 先生  
(理事長・園長)



### 「瑞宝章とは」

国および地方公共団体の公務または公共的な義務に長年にわたり従事して功労を積み重ね、成績を挙げた方に贈られます。

瑞宝双光章(勲五等瑞宝章) 瑞宝単光章(勲六等瑞宝章)

## 研 修 会 報 告

| 開催日      | 研 修 名               | 会 場                 | 講 師                                                 | テ ー マ                                   | 参加者数 |
|----------|---------------------|---------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------|------|
| 9/6(火)   | 第3回園内研修             | ヨコハマ<br>ジャスト1号館     | 大妻女子大学 教授 岡 健先生                                     | 園内研修                                    | 44人  |
| 9/15(木)  | 第3回<br>統合保育基礎講座     | かながわ<br>ようちえん会館     | 社会福祉研究所副所長・教育福祉研究室室長<br>神奈川県立保健福祉大学 非常勤講師<br>上原 文先生 | 「家庭支援について」                              | 109人 |
| 10/19(水) | 新規採用教員研修会           | 神奈川県立体育<br>センターアリーナ | 玉川大学学術研究所<br>心の教育実践センターTAP<br>白山 明秀先生               | 「体験しようアドベンチャー教育 第2回」                    | 94人  |
| 10/27(木) | いじめ問題講習会            | 捜真幼稚園               | 鎌倉女子大学 教授 佐藤 康富先生                                   | 公開保育                                    | 20人  |
| 11/19(土) | 免許状更新講習<br>10年経験者研修 | かながわ<br>ようちえん会館     | 相模女子大学 准教授<br>トート・ガール先生<br>相模女子大学 専任講師<br>金元 あゆみ先生  | 「特別支援 実践ワークショップ」<br>「保育所の保育実践と幼稚園教育の意義」 | 81人  |

発行

社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25  
横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F  
TEL. 045-440-3210 FAX. 045-440-3209

印刷 (有)石黒印刷

〒232-0056 横浜市中区通町3-50-1  
シティコープ弘明寺101号  
TEL. 045-713-0080 FAX. 045-713-0036



### 季節は、秋から冬へ…

秋の深まりとともに、野山が彩られる季節になりました。その美しさに誘われて、紅葉狩りに出かけたくくなります。でも、紅葉を観に行くことを「もみじ狩り」というのは何故でしょう? 「狩り」という言葉は、もともと野鳥や小動物を捕まえる意味ですが、果実を採る意味にも使われるようになりました。そして紅葉を手に取り眺めたことから、「狩り」は、草花を眺めたりする意味にも使われるようになりました。

季節は秋から冬へ移り、早いもので今年も、あと1ヶ月で年末を迎えます。東日本大震災によって、家族の大切さや絆を切に思う1年になりました。今でも放射線は、遠く離れた神奈川県に於いても、少なからず生活に影響を受けています。また、被災された方々は冬を迎え、いっそう寒さも堪(た)えることでしょう。私達も今冬は、節電対策を行いつつ、体調管理に努めたいと思います。今年1年お読み頂きありがとうございました。

広報室員 宮田 昌一